

現代政治専攻

世界をまるごと理解したい貴方へ

学びのキーワード

- 政治
- 社会
- 行政
- 公務員

現代政治をグローバルな視点で研究。 あふれる情報に惑わされず、時代の先を見据えたい

現代政治専攻では、高校の「現代社会」や「政治・経済」を土台に現代の政治をグローバルな視点から学びます。政治と経済が国境を越えて強く結び付いている現代社会。あふれる情報に惑わされず、現代社会を適切に見る目を養うことは、社会人としてのベシックスキルです。そのため専攻の特色として、全専攻の科目を自由に選択できるようにしています。現代政治専攻の学生は、経済専攻や英語専攻などの他専攻の科目を有機的に履修しながら、時間割を組むことが可能です。もちろん専攻独自の特色として、「国際政治学」や「国際政治史」などの専門科目を通じて、世界情勢全般を分析する能力を磨くことができ、また「日米関係論」や「ロシア外交論」などの科目を履修することで、日本を取り巻く国際環境について深い理解を得ることが可能です。その意味で、「世界をまるごと理解したい」という学生に向く専攻です。

学びの特徴

現代政治の研究で身に付く、深い洞察力

日本の政治や北海道の地方政治を、国際政治や歴史と関連付けながら広い視野で学びます。目の前の現象に目を奪われることなく、より深い洞察力を身に付けることができます。

グループワークを通して実践的に学ぶゼミ

2年次から始まるゼミでは、現代政治をめぐるテーマを少人数でグループワーク。資料収集から分析、プレゼンテーション、学外でのインタビューなど、幅広い実践を行います。

グローバルアクションプログラム(GAP)で海外留学へ

学内国際交流や留学体験を通して世界を学び、グローバルな視点で現代政治を研究します。外国語を集中的に学んだ上で、海外への留学を目指すことも可能です。

目指す進路

- 公務員(大卒程度、事務職)
- 民間企業
- ジャーナリスト
- NPO・NGO

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
新聞ニュースを読み解き 時事情報の収集・分析	政治学の知識をさらに発展 他大学との交流もスタート	専門科目の履修が可能に 共同研究の成果を発表	ゼミでの卒業研究が本格化 論文コンペにチャレンジ
政治学に関する基礎知識を身に付けます。特に基礎演習では新聞ニュースを集中的に読み解き、現代日本政治、国際政治に関する時事的情報を適切に収集、分析能力を身に付けます。	国際政治学、平和学等の発展科目が履修可能となり、政治学に関する知識を発展させます。専門ゼミナールⅠ及びⅡでは、他大学との交流、共同研究を軸とした活動も始まり、そのための基礎的作業を行います。	日米関係論や国際協力論等、専門科目の履修が始まります。専門ゼミナールⅢ及びⅣでは共同研究を行い、その研究成果を世に問います。例えば、国際政治学のゼミでは、名古屋国際関係合同ゼミナールに参加し、その成果を報告します。	すべての専門科目が履修可能となります。専門ゼミナールⅤ及びⅥでは、卒業研究に向けた指導、調査が行われます。またその研究成果は、学内外の論文コンペティション等に応募し、その成果の評価を受けます。
憲法Ⅰ(統治)／法学／現代日本政治論／地方政治論	政治理論／平和学／地方自治論／自治体財政論／国際政治学／憲法Ⅱ(人権) 国際関係とジャーナリズム／行政法／法と社会Ⅰ(基礎)／法と社会Ⅱ(応用) 行政学／危機管理論／国際政治史／マクロ経済学(基礎理論) ミクロ経済学(基礎理論)	ロシア外交論A／ロシア外交論B／社会思想史／社会学／哲学／倫理学	日本史概論Ⅰ／日本史概論Ⅱ／外国史(東洋史)A／外国史(東洋史)B／外国史(西洋史)A／外国史(西洋史)B
			現代政治行政事情／外国政治／国際ネゴシエーション／日米関係論／国際法／地方自治法／応用経済学A(国際協力論)／公共政策論
ゼミ科目	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	ゼミナールⅤ ゼミナールⅥ

時間割例

1年次(春)の主な時間割

	月	火	水	木	金
1	憲法入門	英語Ⅰ		英語Ⅰ	
2	入門演習		NPO論		札幌
3	学生生活と社会生活	政治学入門		人類学入門	
4	歴史学入門	体育実技			
5			学生発表型授業		

2年次(春)の主な時間割

	月	火	水	木	金
1		国際政治学	国際関係とジャーナリズム	国際政治学	
2	平和学	行政学	平和学		
3	行政学	政治理論		政治理論	
4				ゼミナールⅠ	
5					

主な科目

●現代日本政治論

日本社会の軌跡は、政治の変遷と深く結び付いています。政治の基本的なしくみと現代に至るまでの日本の政治の動きを、さまざまなエピソードとともにリアルに解説します。

●現代政治行政事情

政治は現代社会の動きそのものです。理解を深めるために、授業では毎回、時事的な話題をピックアップ。学生が自ら歴史的な背景や社会・経済的な影響を調べ、発表、議論します。

●国際政治史

国際政治の理解には、歴史の知識が必要です。朝鮮半島問題、尖閣諸島問題、パレスチナ問題など、第一次・第二次世界大戦の戦後処理が影響を与えています。この講義は17世紀から今日に至る国際政治の史的展開を考察します。

●平和学

多くの人が平和を望んでいるにもかかわらず、なぜ紛争や戦争が絶えないのでしょうか。この講義では、領土紛争、資源紛争など、さまざまな紛争の発生・解決プロセスの考察を通じて、平和構築のための実践的手法を学びます。

●国際政治学

国際政治を理解するには世界を切り取るレンズが必要です。国を観察する上で代表的な「見提示しながら、実際に起こった題材に分かりやすく解説し

●日米関係論

幕末の黒船来航や戦後の日米に理解できません。この講義で在に至る日米の政治的協調と振り返ります。

界を切り取るレンズが必要です。国を観察する上で代表的な「見提示しながら、実際に起こった題材に分かりやすく解説し

安条条約締結な力との関係を抜きは19世紀から現対立の歴史を振り返ります。

教育目標(カリキュラムポリシー:CP)

現代政治専攻では、現代社会の背後にある民主政治の理念を理解した上で、政策的な思考方法を通じて様々な問題の解決策を導きだせる人材を育成します。特に、地方自治を担う地方公務員、政策的な思考方法が役立つ分野の民間企業で活躍する人材を育成します。

到達目標(ディプロマポリシー:DP)

<知識・理解>

政治学の基礎知識を得た上で、民主政治的・政策的な思考方法を理解します。

<関心・意欲>

事実を見出す調査力、問題を法的に理解する分析力、そして、対話の中から真実を見出すコミュニケーション力を身につけます。

<技能・表現>

継続的に学びを深め、民主政治的・政策的な思考方法を用いて他者に貢献していく意欲をもつようになります。

<態度・志向性>

多面的に物事を捉え中庸と寛容を重んじる態度を身につけます。